



「大人」になるとはどういうこと??

今年も残りわずかとなりました。終業式では、「時間の価値」について、今年を振り返りながら、来年への一步を考える時間をもちました。特に今年は、子どもたちの成長はもちろんですが、私自身も成長を感じた一年でした。子どもたちの成長が、私たち大人をも成長させているといったところでしょうか。そこで、「大人」になるとはどういうことか、少し考えてみました。正解は無数にあると思いますが、私自身こうなりたいと思う理想の「大人」を紹介します。

まず、「自分の言動に責任をもてる人」。これは、文字通り自分の言葉と行動に責任をもてる人です。次に、「自由と責任を両立できる人」。これは、自由に選択できるけれど、その結果に責任を取る覚悟がある人です。最後に、「未完成であることを受け入れ学び続ける人」です。大人になるというのは、完璧になることではなく、失敗や迷いを経験しながら成長し続ける姿だと考えます。

2年前、私の親友が「過去の自分に今助けられている。」と、しみじみと語ってくれました。若い頃の努力や人との出会いが、未来の自分を支えてくれる。だから、今この時間には必ず意味があるのだと。今年度、山代中に赴任しきて、その意味がよく分かりました。

この一年、子どもたち一人一人が、何かを頑張り、一方でいろんな失敗を経験したことと思います。未来の自分のために。明日からの冬休み、今年一年の歩み(成長)を振り返り、未来へのヒントを見つける時間にしてほしいと思います。

本年も本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。皆様よいお年をお迎えください。

校則の一部改正を行いました

臨時国会が会期末を迎えた17日、本校では「臨時生徒総会」が開かれました。議題は「靴下の色」について。6月の生徒総会で提案され、その後、生徒会で議論を重ね、臨時生徒総会において改正理由の説明が行われ、多数決の結果、全会一致で可決されました。まさに国会さながらのプロセスを経て、生徒主導で校則の一部改正が実現しました。まさに、「これぞ民主主義」という生きた学びになりました。これにより、3学期から黒の靴下もOKとなります。

私が中学生の頃は、「男子は丸刈り」が当たり前の時代で、私自身そのことに何の疑問も抱かず中学3年間を過ごしました。しかし、私が教職に就いた頃、市内のある中学校で生徒が立ち上がり、生徒総会で丸刈りの校則を撤廃すると、その波は一気に市内全域に広がったことをよく覚えています。

校長室より 今夜の「クリスマス・イヴ」は6時間11分

「クリスマス・イヴ」とは、イエス・キリストの誕生を祝う前夜祭のこと、「イヴ」は日本語で「夜」という意味です。つまり、「クリスマス・イヴ」とは12月24日全体を指すのではなく、日没から25日の0時までをいいます。ちなみに、今年のクリスマス・イヴは、本日17:19から午前0時までの「6時間11分」ということになります。

本来はキリスト教徒による祝祭ですが、日本では宗教に関係なく、冬の行事の定番となりました。我が家は曹洞宗(開祖は道元禅師)ですが、ここ数年、母親が敬老会で作った昔ながらのクリスマス・ケーキが登場しています。味は…です。(汗; ★今夜は家族で素敵なおいを過ごしてくださいね★)